

(参 考)

平成18年度における環境省の契約実績について

環境省においては、随意契約によることが真にやむを得ないものを除き、競争入札や企画競争等の競争性のある契約方式に改めるとの方針の下、平成18年6月に、平成17年度に締結した随意契約について点検・見直しを行いました。

このたび、平成18年度において環境省（地方環境事務所等を含む。）が締結した契約の実績をまとめました。

平成18年度は、こうした契約の見直しの取組途上ではありましたが、

- ①競争性のある契約方式(競争入札、企画競争)の全契約に占める割合は、件数ベースで58%、金額ベースで56%に増加するとともに、
- ②競争性のない随意契約だけを見ても、平成17年度に比べ、件数ベースで約4割(77%(17年度)→42%(18年度))、金額ベースで約2割(60%(17年度)→44%(18年度))それぞれ縮小しました。

【平成17年度】			【平成18年度】		
	件数	金額(億円)		件数	金額(億円)
競争入札	241 (12%)	49 (13%)	⇒	720 (35%)	89 (23%)
企画競争・公募	220 (11%)	100 (27%)		465 (23%)	130 (33%)
競争性のない 随意契約	1,533 (77%)	223 (60%)		876 (42%)	173 (44%)
計	1,994 (100%)	371 (100%)		2,061 (100%)	392 (100%)

※平成17年度、18年度に環境省（地方環境事務所等を含む。）が締結した契約金額100万円以上の全契約を対象。

※「競争性のない随意契約」には、いわゆる不落・不調随契を含む。なお、不落・不調随意契約の契約件数及び金額は、38件で総額約4億円。

